

① 事業実施報告書詳細 景観まちづくり学習報告

恵那市立明智中学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
令和元年5月22日 1時間	八幡神社 明知城址	明智城跡を見学する。 講師より城の概要と史跡の整備状況を知る。 明智城跡整備についての思いを聞く。 取材ノートに調査内容を整理する。 明智光秀ゆかりの史跡を見学する。		明智のまちづくりに貢献している人の話を聞き、小学校の時に学んだことを思い出し、明智の歴史に興味をもつことができた。
令和元年5月24日 2時間	日本大正村バラ園	「大正村バラ祭り」の会場となるバラ園の整備に参加する。 大正村のバラ園の魅力や問題点を整理する。 日本大正村を訪れる人の気持ちから整備について考える。		生徒の感想よりきちんと作業をすることができた。バラを多くの人に見てもらいたい。
令和元年6月5日 1時間	明智中学校 1年教室	明智光秀ゆかりの史跡と光秀の生涯について話を聞く。 明智光秀ゆかりの史跡の整備について説明を聞く。 明智光秀についての地元の人たちの思いを伝える。 自分たちがどのように関わるかについて考える。		次のような生徒の感想があった。 明智光秀は、明智町出身という伝説がある事が分かった。 光秀に関わる史跡も多く残されていて、もっと多くの人に知ってもらえるようにしたい。
令和2年2月12日 2時間	日本大正村の建造物、資料館を恵那南高校の生徒と一緒に回り、大正村の良さを伝えるスポットを取り上げたパンフレットづくりを行う。	フォトスポットに取り上げた建造物や路地、明智光秀ゆかりの史跡などパンフレットに掲載する場所を選ぶ。 恵那南高校生徒と一緒に取材の計画や記事について検討する。		パンフレットのページを分担し、各グループで紙面の構成を考えることができた。 フォトスポットから、掲載する場所を選び、取材ポイントを決めた。
令和2年2月19日 2時間	日本大正村の建造物、資料館を恵那南高校の生徒と一緒に回り写真を撮影する。 スポットの良さを伝える写真選びを行う。	現地調査する。 観光客に知らせたいスポットの魅力が伝わる撮影ポイントを探す。 パンフレットに掲載する写真を撮影する。		現地を訪ねて、インスタ映えするポイントの写真撮影した。 観光客に興味を持ってもらえるアングルで撮影した。
9月9日 1時間	明智町に貢献しようと恵那南高校の生徒共に作成したパンフレットを日本大正村や明智振興事務所の方に贈呈することで、地域貢献する意欲を高める。	明智の魅力伝えるパンフレットを明智振興事務所、日本大正村の方に作成にあたっての思いを伝える。 恵那南高校の生徒のパンフレット制作についての思いを聞く。 明智振興事務所、日本大正村の方の言葉から、地域への貢献について考えを深める。		自分たちが撮影した写真の狙いを説明し、史跡の紹介と共にその周辺の良さを話すことが出来た。
9月9日 1時間	恵那市や明智の現状、日本大正村を含めた観光の状況を聞き、自分たちができることについて考えることができる。	明智町の人口、産業などの現状を聞く。 日本大正村の観光客の状況を聞く。 恵那市、明智町、日本大正村の抱える課題と自分たちの役割を考える。		次のような生徒の感想があった。 人口、観光客ともに減少し、10年後明智を支える人になりたい。 観光客が来て、また来たいと思ってもらえるように清掃活動に取り組んだりしたい。 課題解決に向けてボランティアに積極的に参加していきたい。

## ② 学習指導案

単元名 (全 時間)	明智を知る(景観まちづくり) (全 13時間)
学習のねらい	明智の歴史について、お話を聞いたり、史跡や遺跡を探索したりすることを通して、明智の現状を知ると共に、明智の景観のよさに気づき、町の景観づくりに参加することができる。
学習内容	1 オリエンテーション 学習の見通しをもつ 2 明智について調べる 明智に貢献する方の講話1「明知城跡」 明智に貢献する方の講話2「伝 明智光秀誕生地」 3 よりよいまちづくり 日本大正村バラ園整備をしよう 日本大正村、光秀ゆかりの地を紹介するパンフレットづくりをしよう 4 パンフレット贈呈式 明智に貢献する方の講話3「日本大正村について」
参考資料	「抱こう 高い志 ふるさと明智」
準備品	連絡用携帯電話
実施場所等	明智中学校 日本大正村建物群 地域史跡

### 学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
	1 オリエンテーション 学習の見通しをもつ 2 明智について調べる 明智に貢献する方の講話1 「明知城跡」 明智に貢献する方の講話2 「伝 明智光秀誕生地」 3 よりよいまちづくり 日本大正村バラ園整備をしよう 日本大正村、光秀ゆかりの地を紹介するパンフレットづくりをしよう 4 パンフレット贈呈式 明智に貢献する方の講話3 「日本大正村について」	昨年の取組を紹介し、1年間の学習の見通しをもたせる。 講師による講話から、小学校での学びを振り返らせる。 城跡などの実地の見学を通して、地域のよさに気づかせる。 バラ園の整備作業に参加させ、自ら出来ることを考えさせる。 高校生とフォトスポットでSNS映えする撮影ポイントを出させる。 パンフレットの構図を考え、撮影した写真の意図をきちんと伝えられるように助言する。 講話から明智町を取り巻く状況を知らせ、活性化への関心を高める 作成したパンフレットの意義を確かめ、景観を守る意欲を高める。	学習の見通しをもつことができる。 明智の町の様子を講話や見学からとらえることができる。 景観をよくするためにできることを考え、活動に進んで取り組むことができる。 町を訪れる人を考えて、アングルを考えた写真を撮影できる。

## 学習指導案

活動名	大正村を紹介するパンフレットの贈呈
学習のねらい	大正村や明智光秀ゆかりの史跡を紹介するパンフレットづくりを通して、明智の景観のよさに気づき、町の景観づくりに参加することができる。 明智町に貢献しようと恵那南高校の生徒とともに作成したパンフレットを大正村や明智振興事務所の方に贈呈することで、地域貢献する意欲を高める。
学習内容	1 明智町・大正村の現状を知る。 新型コロナウイルス感染予防についての恵那市の現状やそれに伴う影響について知り、今できる地域貢献について考え、案内動画の作成の意欲を高める。 2 パンフレット贈呈 振興事務所、大正村の方にパンフレットを贈呈する。
参考資料	
準備品	パンフレット
実施場所等	明智中学校

## 学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
05	1 オリエンテーション 学習の見通しをもつ	◇パンフレットを見直させ、昨年の取組を確認する。	学習の見通しをもつことができる。
45	2 恵那市、大正村の現状について知る。 講話 「恵那市、大正村の現状と課題」 3 講話のお礼 休憩 4 パンフレット贈呈式 ① 明智中学校2年生代表生徒の話 ② 恵那南高校の代表生徒の話 ③ 贈呈 ④ 明智振興事務所長の話 ⑤ 日本大正村理事の話	◇講師の紹介恵那市、大正村の現状に関心を高める。 ◇パンフレットを作成した目的や願いを想起し、現状と比較して聞く。 ◇恵那市や大正村の現状を知り、必要な取り組みを考え、動画作成の意義をつかむ。 ◇1年生での学びを振り返らせ、新たな地域貢献に取り組む意欲を高める。	恵那市、大正村の現状について理解できる。 町を訪れる人にどんなことを伝えるとよいかを考えなおし、アイデアを生かした動画づくりへの意欲を高める。

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

- 中学生だけでなく、高校生と共にフォトスポットを撮影してパンフレットを作成するように取り組んだ。
- 3年間の活動の入り口として、町についての知識をもたせるように講話を取り入れて行った。
- パンフレットを作成することで、相手意識、目的に意識を明確にできるようにした。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

- 講師の都合に合わせた計画に成るところがあり、学習の流れを意識させることが弱くなった。
- バラ園の整備作業を地域の方と一緒にを行うため、生徒が自分から動ける場面をつくることが難しい。
- パンフレットづくりで、高校生と一緒に活動するため調整が必要で苦労した。高校生頼り、中学生頼りの活動にならないように調整することが難しい。

#### (3) 生徒の反応

- 地域貢献活動に一生懸命参加する生徒が増えた。
- バラ園を整備、パンフレットを制作する活動に意欲的に取り組めた。
- パンフレットづくりで、パンフレットの構図とともに、紹介したい場所や撮影アングル決めをすることで、街の景観を見直すことができ、街の良さを確認することができた。
- パンフレット贈呈式と合わせて、日本大正村や明智の現状についての講話を行ったことにより、パンフレットを作成する意義を再確認でき、日本大正村や明智の街づくりに貢献したいという気持ちを高めることが出来た。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 生徒と一緒に地域を学ぶことで、地域関係者との交流が広がり、地域の現状や課題を考えることができた。総合的な学習の時間の役割を考えることができた。
- 高校生とともに授業を行うことで、中学校と高校教員が役割分担して、指導にあたることができた。また中学校と高校の学びの接続ができた。
- 観光客や地域の人々の立場から、地域の景観を考えることができた。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔生徒の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- 小学校の総合的な学習の時間の体験や学習内容について把握することで、活動内容の精選ができ、繰り返し探索、調査活動が行えるようにしていきたい。
- 個人の追及のまとめが不十分になった。パンフレットが形になることで満足してしまい、その効果を検証することが不十分となった。活動の個人のまとめを行った上で、街づくりについての考えを地域の人と交流する機会を設ける。こうすることで、街の景観を地域の人と創っていく思いや願いを持たせたい。